

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-535801(P2004-535801A)

【公表日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2002-592469(P2002-592469)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	7/00	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	B
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月25日(2005.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

ヒトMCKプロモーター(上流496から下流37)は増幅するのが困難であることが判明した、その結果、プロモーターを3段階で作製した。第一段階として、485塩基対の産物を増幅するため、プライマー対MCK S7-MCK S11を使用した。第二段階として、189塩基対の産物を増幅するために、プライマー対MCK S9-MCK S12を使用した。第三段階として、533塩基対のプロモーターを増幅するために、MCK S11-MCK S12プライマーを用いて2つの産物を連結した。

S7: ACCCTGAACC CAGGCATGC (配列番号:5)
S9: GCATGCCTGG GTTCAGGT (配列番号:6)
S11: CCCTGAGTTT GAATCTC (配列番号:7)
S12: AAGGGGGGCT GTCTGTA (配列番号:8)

MCKプロモーターの配列は、配列番号:18に示されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

ウズラでは、TnIプロモーター(TNN12)は、上流530と下流60nt以内に位置している。ヒトでは、プロモーター配列は、上流146と下流19nt以内に位置している。TNI2プロモーターの配列は、配列番号:24に示されている。ヒトTNI2プロモーターを、以下のプライマーを用いて増幅した：

5'プライマー： GTTGAATTGG CGGCCAGGCC AGGCAGGCCGG ACA
(配列番号:25)

3'プライマー： GTTGGATCCA GGCGGGCAGC GGCGAGTTGG (配列番号:26)

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】配列表

【補正方法】追加

【補正の内容】

【配列表】

2004535801000001.app